



がっこうだより

枚方市長尾西町2丁目45番1号 TEL050-7102-9176
E-mail nishinagao-e00@city.hirakata.ed.jp
URL <https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2710079>

枚方市立西長尾小学校 令和7年3月24日号

<西長尾小学校のめざす児童像>

1. 心豊かな子ども（自他を大切に
する、思いやりのある子ども）
2. 深く考える子ども（自ら学び、
創造的な思考を持ち、柔軟に行動
できる子ども）
3. 健康な子ども

学ぶための7つの力が、学力の土台をつくります。

——自制心、忍耐力、相互理解、協調、受容・共感、向上心、自尊心——

☆たくましく育つことができました

あつという間にすぎえていった3学期。ふりかえってみると、6年生の卒業という最大の節目^{ふしめ}において、子どもたちは、日を重ねるごとに、「自分はもうすぐ進級^{しんきゅう}するのだ」という意識^{いしき}を高めていきました。この「進級」の自覚^{じかく}が、これまでの成長に気づき^{あとお}をもたらすとともに、これからの自分の目標や希望へむけたふるまいを後押ししたようです。

3学期を通じた各学年のみなさんの姿には、年度のはじめにはなかった、「たよりがい」や「たくましさ」を強く感じました。もうすでに心の中は次の学年になっています。4月におかたて歩みを進めるうえで、今一度立ち止まり、落ち穂^{おぼ}ひろいすることがないか（やり残しや忘れ物がないか）足もとを見わたしてみましよう。

☆頼もしさを強く感じた6年生を送る会

1年生から4年生の児童だけで、6年生の卒業をお祝いする「6年生を送る会」は、3月7日に行われました。いずれの学年も1年間の集大成ともいえる姿が印象的でした。

1年生はやさしくかわいい歌声と、たくさんたくさんお礼を重ねた後、最後の一礼で、サプライズが……。

ランドセルのふたが開いたと思ったら、そこには「ありがとうございました」のメッセージが！ 最後は帽子をとって手をふります。ドラマチックでした。



2年生からの贈る言葉です。
テンポの良い呼びかけと手話も交えた歌声には、その言葉と姿に気持ちを込めて心を伝える響きがありました。

元気でひたむきな2年生の姿を見ている6年生の温かい笑顔が印象的でした。



3年生の番が回ってきました。
落ち着いた団結力を感じます。

いよいよ次は高学年の仲間入りをするんだという自覚を感じました。

歌声も最初から最後まで本当に優しい、思いやりのこもったものとなりました。



在校生の学年から贈るメッセージの最後は4年生です。

今年卒業する6年生をお手本として、学校を支える決意と自覚にあふれた言葉が続きます。4年生の歌声やメッセージも大変頼もしく、素晴らしいものでした。

この送る会の内容の検討から当日の運営進行をすべて主体的に取り仕切ったのが4年生の代表の児童のみなさんです。これらの代表の人たちを中心として4年生のすべての児童が心を一つに取り組んだ姿がありました。また、それをお手本として、下の学年の子どもたちも6年生へのまごころの姿勢を貫いていた、大変にいい送る会でした。



☆爽やかな風のような卒業生たち

3月18日に行われた卒業式。

5年生の心をこめた演奏のなか、入場の際には、緊張しつつも自信をたたえた一人ひとりの表情が大変に印象に残りました。

壇上で披露した決意と希望も、素直な気持ちにあふれ、その瞬間の横顔が、輝くのを感じました。

とても爽やかな式でした。



贈る言葉とお別れの言葉のやり取りの素晴らしい空気を用意してくれたのが5年生でした。「6年生のため、最高の舞台を自分たちが創るのだ」という深い思いが伝わる合唱とメッセージでした。それを受け、6年生のさらに見事な返歌とメッセージが続きます。その間、式辞でお話したエピソード以外の、他者意識の高い6年生の様々な場面をたくさん思い浮かべていました。本当に毎日と言っていいほど、思いやりを感じる場面がありました。

西長尾小学校のすべての子どもたちと、子どもたちの成長を支えてくださったすべてのみなさまに感謝いたします。ありがとうございました。



☆令和7年度 異動する教職員のお知らせ

今年度から3月24日に離任式が行われることになりました。本日の終了式の後、離任式を行いました。

異動先等については4月以降にお知らせする予定です。

令和7年度 異動する教職員

児童のみなさん、保護者のみなさま、大変にお世話になりました。
ありがとうございました。

3月14日 1年生 創作劇活動(コミュニケーション授業)

「これは何でしょうあてっこゲーム」グループが演じたものを見て、出されたお題を観客が当てっこするゲームです。2学級が一緒になって、与えられたお題の場面をグループでジェスチャーによって表現していました。正解のあと、どんなところがそのように見えたのかを確認をしています。人によって見え方や気づいたところが違います。このやりとりにより、人によって受け止め方が微妙に違うことを感じます。



☆3月のようす

日々の学校の様子は 西長尾小学校
ブログをごらんください。 QRコード→



3月3日 5年生 創作劇活動(リレー創作)

3人から4人のグループで全員が一斉に原稿用紙に向かい、登場人物が3~4名の作品を書きます。

一定の時間が経過すると、隣の人に原稿を回します。もらった人はその続きをのお話を描いていきます。グループでできた作品の一つを選び役を決めて練習し、3コマ目に発表します。



3月14日 4年生 ビブリオバトル

今年度5回目のビブリオバトルです。継続的な取り組みにより、時間内に伝えたいことをまとめて表現する一人ひとりのスキルが磨かれていました。各グループの中のチャンプ本に選ばれた人も新しい人ばかりでした。自信を持って発表する姿だけでなく、相手に伝えることを考えた表現の工夫など、かなり他者意識を持って取り組むことができるようになっています。



3月6日 5年生と3年生

なかよし学年行事です。5年生が遊びの内容を企画運営し、3年生と一緒に楽しんでいます。なごやかでゆったりとした雰囲気、ほっこりしました。玉入れの籠を下で支えていると、純粹で混じり気のない爽やかな気持ちが玉とともに集まってくるようで、不思議な体験でした。玉入れの後はドッチビーをしていました。



3月21日 2年生 創作劇活動(コミュニケーション授業)

「何をやっていて、どうなったでしょう?」ジェスチャーゲームです。観ている人にどれだけ当ててもらえる演技ができるかを競います。1年生から毎学期必ず一度ずつ積み重ねてきただけに、話し合いの場となるとすぐかたまりができます。1人ももれなく話し合いができる姿を見て感動しました。子どもたちは、一つ一つのグループの作品を楽しみながらも、観客の役割も果たしながら見ていました。発表する人が伝えようとしていることをしっかり受け止めるという姿勢で鑑賞していました。この観客としての姿も、他者意識を育みます。



3月6日 6年生

理科 学校運営協議会委員の児島先生にお越しいただいて、特別授業を行っていただきました。ものが燃えるときの条件について、考え、実際に確認をします。代表で実験をしてくれる人を募ったら、さっとたくさん手が上がりました。

